

向東小 学校だより

環境が変ると学びが変わる

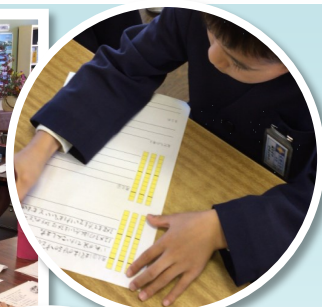
尾道市立向東小学校
平成28年11月30日（水）
発行責任者 石原政信

※写真はパノラマ撮影をしているため、歪みが生じていますので、ご了解ください。

師走を迎えます。12月は各学年で、2学期の学びの集大成を図る時期です。さて、上記の写真は、リニューアルした「海とみかんの図書室」です。従来、閲覧室と図書室に分かれていた2部屋を間を仕切っていた壁を撤去し、1つの大空間に改修して頂きました。また、壁際に設置されていた本箱を組み合わせた後、キャスターを付けて、自由に移動ができるように改造して頂きました。このリニューアルは、尾道市教育委員会庶務課の職員の皆さん、本校の久保技術員の尽力により進めることができました。単に図書室としての機能だけではなく、総合的な学習の時間で、自分の課題に関する情報を集めたり、仲間と情報を整理分析したり、伝えたいことをまとめて表現する学習の機会に有効に使える場としてレイアウト等を考案しました。

リニューアル後の「海とみかんの図書室」に来る子ども達の様子を観察していると、多くの子どもは、丸形のテーブルに座って本を読んだり、絨毯の上にある丸形テーブルに座って読む姿が良く見られます。「丸」という形は、人が近づきたくなる心理的効果があるそうです。空間の中には、直線的な凛とした空気感と、曲線の柔らかい空気感が混在することにより、それぞれの異なる役割を併せ持つことが可能となります。

現在、この新しい図書室において、季節に応じて「今読みたい本を紹介するコーナー」を設置したり、貸出ランキングなど、「図書館司書」的な役割を果たして頂ける方を募集しています。ご興味のある方、ぜひ、学校に御連絡ください。



授業の質を 高める

11月24日（木）

本校の「授業公開」の日でした。今回は、第2学年1組が算数、第4学年1組が体育、チャレンジ学級

3が自立活動、第5学年2組が社会科をそれぞれ公開しました。本校では、子ども達が自ら学ぼうとする姿勢を培ったり、仲間とともに学びあうことを大切にしています。その中で、論理的に説明したり、書いたりする力を高めることができる授業づくりを教職員全員で模索しています。今、広島県では、これからの社会を生き抜く子ども達を育てるために、「学びの改革アクションプラン」を推進しているところです。本校においても、その趣旨を実現できるような授業づくりを推進しています。